

大切に受け止め、
20人の議員が20通りの考え方で
議論し、未来へつなげたいと
日々活動しています。
「議会」だからこそできることが
きっとあります！
あなた発、よりよい丹波市へー。

議会のトリセツ

みなさんは、日々の暮らしの中で、
もったいなくなったらいいなあと思
うこと、ありませんか？
子育てや介護、医療のこと。
農業の未来や環境、防災のこと。
地域づくりや公共交通のこと…。
そんな一人ひとりの「声」を



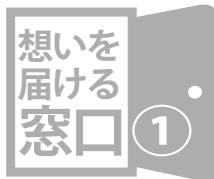
もくじ

※トリセツ：取扱説明書の略

特集：議会のトリセツ～想いを届ける7つの方法～ 2～7 ココがギロンの論点！…8
審議結果…9 ココが聞きたい！一般質問…10～15 新たな子育て施策の提言へ…15
先進地に学ぶ視察報告…16～17 政務活動費の収支を報告します…18



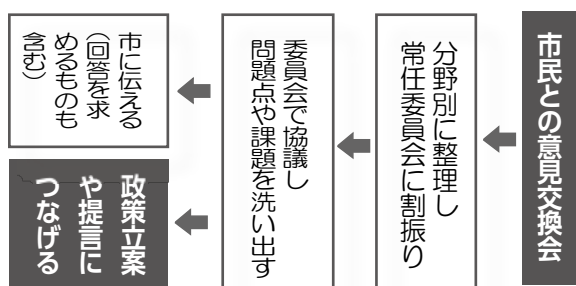
今年も5月に市内6会場で開催しました。今回はじめて、氷上地域で土曜日の夜に開催するなど、みなさんが参加しやすいよう工夫を重ねています。



だれでも参加できます！ 意見交換会に 参加しよう

丹波市議会では、開かれた議会をめざし、市民のみなさんから直接ご意見をお伺いしたいと、「市民との意見交換会」を毎年開催しています。定例会で議論となったことを中心に議員から報告した後、参加者のみなさんから広くご意見をいただけるよう、数人ずつのグループに分かれて議員が直接お聴きします。

意見交換会から提言へのプロセス



Q 伝えた意見は、どんな風に生かされているのかな？



A 持ち帰った意見は議員みんなで協議します

いただいたご意見の中から市政の問題点や課題を発見し、その解決に向けて調査・研究・分析をします。また、内容に応じて市に伝えたり政策立案・提言につなげたりしています。

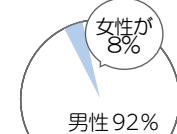
参加者アンケートの結果から 5月14日(月)～19日(土) 午後7時30分～ (回答数：155)

[ご意見ありがとうございます]

- * 少数で、意見を言いやすい工夫されていた(50代女性)
- * みなさんのいろいろな意見が聞けた(50代男性)
- * 1対1で親切に答えていただき信頼できた(40代女性)
- * 子育て世代の意見を聞く場があればうれしい(30代女性)
- * テーマを決めた方が話しやすいのではないかな(60代男性)

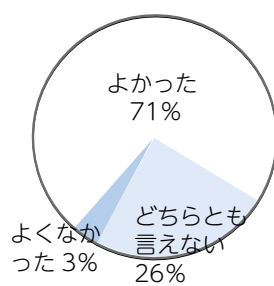
ピックアップコメント 60代

「私の地域は女性の参加がありませんでした。参加しないと、女性の意見が市政に反映されないのではないかと思います。」

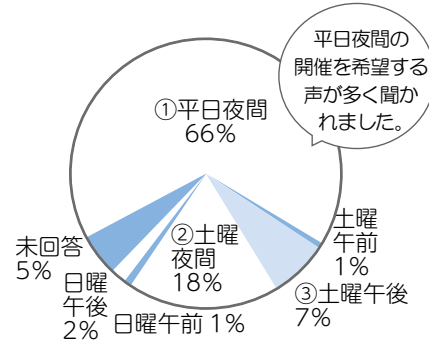


若い人や女性が多かったと聞いて、いろいろな「声」を出し合えるといいですね。

Q 意見交換会の感想



Q 希望の開催時間



平日夜間の開催を希望する声が多く聞かれました。

■ 参加しました

「グループワークでは、議員さんがみんなファシリテーターをされているのでびっくりしました。女性も意見を言える雰囲気でした。大きい声の人の話に振り回されず、市全体がよくなるといいですね。」



議会のトリセツ

[想いを届ける7つの方法]

この「市議会取扱説明書」は、みなさんの想いを市議会へ届ける7つの方法をまとめたものです。あなたの声を、あなたの想い描くまちのイメージを、議会に届けてみませんか。

- 1 意見交換会に参加しよう 3～5
だれでも参加できます！
採択なら国県へ意見書の提出も
- 2 請願書を出そう 4
想いを文書で伝える
- 3 要望書を出そう 5
事件は「議場」で起きよう！
- 4 傍聴に行ってみよう 6
議員へ直接団体の想いを伝える
- 5 議員と懇談しよう 7
身近な議員に想いを伝える
- 6 議員に直接伝えよう 7
読んでみたくなる作戦会議
- 7 「読モ会議」に参加しよう 6
パソコン・スマホでどこでも
- A ライブ中継や会議録を見よう 7



338 の「指」



04

想いを届ける窓口④

事件※は「議場」で起きている！
傍聴に行ってみよう

定例会や委員会では、私たちのくらしに直接関わる大切なことについて、20人の議員がそれぞれの考え方で慎重に議論しています。傍聴で感じたことやご意見を、アンケートでお知らせください（※本会議などに提案される審議案件を議会用語で「事件」と呼びます）。

受付で住所と名前を記入し、傍聴用資料とアンケートを受け取ります。

1 議会事務局（市役所3階）で受付をする

一般質問の日は、各議員の質問内容をまとめた資料もお渡ししています（ホームページにも掲載）。



2 傍聴席へ

少し高くなった傍聴席からは議場全体が見渡せ、議員席のすぐ後ろで傍聴できます（車いす用の入口や介助者席もあります）。



■ 定例会を傍聴しました！

「今回、初めて傍聴に行って一般質問を聞きました。災害に強い体制に向けて、行政はもちろん企業としても前もって準備していかなければと強く感じました。」足立和彦さん（春日地域）



想いを届ける窓口⑥

身近な議員に想いを伝える
議員に直接伝えよう



相談したいこと、伝えたいことは、議員が直接伺います。議員は市民のみなさんの代表です。身近な議員にご意見やご要望をお伝えください。議員の連絡先は、市議会ホームページにも掲載しています。



想いを届ける窓口⑦

読んでみたくなる作戦会議
「読モ会議」に参加しよう

議会報編集委員会では、読んでみたくなる作戦会議と題して「たんばりんぐ」に関するご意見やアイデアをお聴きする「読者モニター会議」を開催しています。今年度は、7月19日に氷上高校生による「読



読モ会議に参加しました
昨年は柏原高校生を対象に開催しました。



想いを届ける窓口⑤

議員へ直接団体の想いを伝える
議員と懇談しよう

議案審査やその時々課題など、必要に応じて、関係する市民団体等との懇談会を開催しています。



こども園の建設・運営について 氷上町福祉会と懇談

生郷・沼貫のふたつのこども園開園を前に、保育士不足や建設費の増大を懸念されていることを受け、総務常任委員会との懇談を行いました（平成29年11月開催）。

後継者育成や太陽光発電について 農業委員会と懇談

農地転用による太陽光発電施設の設置による景観の悪化、後継者の育成や有害鳥獣対策など今後の農業振興施策に向けた課題についてご意見を伺いました（平成29年11月と平成30年1月に開催）。

■ 懇談会に出席しました

「遊休農地や担い手、鳥獣害対策、所得向上など直面している課題について懇談しました。課題を共有いただき、一つでも解決するとうれしいですね。」

丹波市農業委員会副会長
荒木嘉信さん（市島地域）

参加の窓口A

パソコン・スマホでも
ライブ中継や会議録を見よう

本会議や委員会は、インターネット中継で会議の様子を見ることが出来ます。また、会議名やキーワード、発言者などで検索して、会議録を見ることが出来ます。



市議会 HP からアクセスできます

パソコン	アクセス数	アクセス数
	H28	H29
ライブ中継	17,084	20,393
録画中継	32,252	14,562

スマートフォン	アクセス数	アクセス数
	H28	H29
ライブ中継	1,687	2,037
録画中継	20,570	15,263

※ライブ中継は本会議と委員会、録画中継は本会議のみ。



ネット中継 会議録

■一般質問



近藤憲生議員



消火栓と格納庫

問 業務継続計画における改善・検証等現在の進捗状況は。

答 職員への周知・理解を深める研修や訓練として、職員の参集訓練や外部講師による机上訓練等を行っています。また、優先継続業務について2度の整理を行い、集約を行っています。

問 梅雨入りし水害が危惧されるので、早期の改訂が必要と思うがいかがか。

答 最終的に8月頃を目途に計画書の改訂を予定しているが1日でも早く改訂できるよう努めてまいります。

問 消防施設整備事業補助金交付要綱の今後の方向性は。

答 地域の消防体制の充実を図るため、毎年8月頃を目途に各自治会から消防水利確保等のために要望書の提出をお願いし、翌年度の予算に反映ができるよう、今後も要綱の内容点検や対象事業の適正化等に努めてまいります。



「ノリ弁当」は、ダメ？絶対？

問 市の情報公開制度は、平成25年の審査会答申を受けて見直されているが、マニュアル通りに運用されていない。いわゆる「のり弁」と言われるような黒塗り資料が多数出てきている。条例に沿った情報開示が必要では。

答 課によって、適切に開示できていないものがありました。指摘された件について、

問 市の情報公開制度は、平成25年の審査会答申を受けて見直されているが、マニュアル通りに運用されていない。いわゆる「のり弁」と言われるような黒塗り資料が多数出てきている。条例に沿った情報開示が必要では。

答 課によって、適切に開示できていないものがありました。指摘された件について、

問 市は、昨今の財務省の情報公開の二重線をどう感じているか。

答 国民が納得できる状態ではないと考えています。

問 政府でもメールの管理がおろそかでした。市でも情報の共有や連絡、意思決定の資料としての電子情報を保管するべきでは。

答 文書管理のあり方について関心が高まっている中、市として説明責任を果たすため、保存管理の仕組みを検討して参ります。



山名隆衛議員

答 業務継続計画の進捗状況は、研修や訓練の実施と優先継続業務について整理を行っています。

問 新病院に伴う周辺の道路整備は。

答 丹波警察署等と連携し上申します。



子育て策に重要な病院と道路未来は

問 暮らしの安心からR429トンネル化と市道小和田一平野線の考え方は。

答 国道429号は公共事業等評価委員会に向けた調査費も予算化され、引き続き福知山市と連携し進めます。関連する市道小和田平野線改修は国道429号の進捗に合わせ、小和田橋改修は市道路整備計画後期計画により進めます。

問 新病院に伴う周辺の道路整備は。

答 丹波警察署等と連携し上申します。

問 子育て支援策の取り組みについて。

答 人口減少や男女協同参画の観点から、

問 重要課題施策であり、丹の里創生総合戦略推進委員会の検証提案から限られた予算の中「子育て世代包括支援センター事業」等子育て充実を考えます。

問 身近な公園や遊び場の整備は。

答 現時点では新しい公園整備はないが新しい都市構造の「暮らし方の議論」を踏まえ検討します。

問 2月14日に山南4地区代表に説明した「山南地域中学校統合の考え方（案）」「統合準備委員会設置要綱（案）」について、地域から疑義や不満が出ています。地域の意見も尊重しながら進めるべきと考えますが。

答 設置要綱は教育委員会が決めるものであり、地域に了解を求めて定めるものでは

ココが聞きたい！一般質問

一般質問は、議員個人が自分なりの問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、16人が、私たちの生活にかかわることについて質問や提言をしました。

テーマは自由

質問する内容は、議案とは関係なく議員が自由に決め、「通告書」に書いて締切日までに提出します。

制限時間は60分

一人あたりの制限時間は、市からの答弁も含め60分です。

ホームページに質問項目を掲載

質問項目は、事前にホームページに掲載。また、傍聴者には、質問要旨をお渡ししています。

すべての質問項目は市議会ホームページをご覧ください。



一般質問の様子（ライブ中継・録画映像）は市議会ホームページからみることができます。〔検索ワード〕丹波市議会インターネット中継



太田一誠議員

「心の合併の見える化」実現策は最重要課題の子育て策では、将来のまちの姿暮らし方議論をします



西脇秀隆議員

山南地域中学統合は住民の合意で地域の意見を尊重して統合を進めます

問 2月14日に山南4地区代表に説明した「山南地域中学校統合の考え方（案）」「統合準備委員会設置要綱（案）」について、地域から疑義や不満が出ています。地域の意見も尊重しながら進めるべきと考えますが。

答 設置要綱は教育委員会が決めるものであり、地域に了解を求めて定めるものでは



101人でもがんばっている和田中学校

丹波市に福祉キャンパス誘致を施設整備の財政支援や学生の居住環境整備等更なる研究が必要です。



問 保育士の確保対策についての取組みと待機児童の確認、そして自宅育児の支援策をつくりませんか。

答 丹波市福祉人材確保策の優遇施策により、今年度35人の保育士が確保できた事が取組みの効果と評価しています。3歳未満児の保育需要は大きく伸びており、今後待機児童は否定できない。保育現場の負担軽減と子育てしやすい環境づくりに新しい施策を研究します。



小橋昭彦議員

健康まちづくり基本方針の策定を

答 関係部署が連携し、健康に力を入れる市の魅力を伝えていきます

問 統合新病院のオープンを機に、健康まちづくりへの基本方針を策定してはいかがでしょうか。

答 市では平成18年4月に全国に先駆け「健康寿命日本一のまち」を宣言、平成28年度からは「健康だんば21」第2次計画に積極的に取り組んでいきます。健康分野への関心が高まる中、丹波市のブランド力向上、市民意識啓発のためにもこの分野の強みを関係部署が連携しながら分かりやすく伝えることは重要と考えます。

問 新病院周辺を健康医療ゾーンにする、予防接種等ネット



新病院の開院は市にとって大きなチャンス

ワークを活かしたビッグデータ分野への貢献など、総合的な取り組みを。

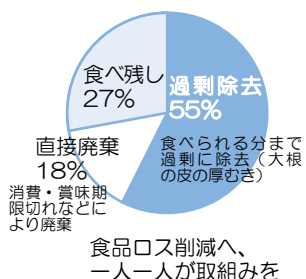
答 いずれも重要な取り組みです。健康福祉モデルゾーンとして、未来都市創造審議会での議論を踏まえながら市全域に広げます。また、医療データ活用に関しては、有効な連携体制構築への協議を進めています。

可燃ごみ減量化の取り組み推進を

答 紙ごみの再資源化の推進等、可燃ごみのさらなる減量化に取り組めます。

問 クリーンセンターでの可燃ごみ処理量が年々増加し、施設の稼働率は当初の計画より大幅に高くなっています。可燃ごみ減量化の取組推進を。

答 特に、施設へ直接搬入される可燃ごみの量が年々増加しています。そこで、家具類の再生品化に取り組んでいますが、さらに布団類のリサイクルや紙ごみの再資源化の推進を進めます。



問 進、また、食品ロス削減の啓発活動により、可燃ごみのさらなる減量化に取り組めます。

答 市内企業の人材育成・確保への支援と企業誘致の推進を。市では、設備投資支援事業等の様々な制度を設けていますが、平成30年度には検証を行う予定です。その際には、人材育成・確保の効果的な支援についても検討します。



藤原 悟議員

市島地域、小学校の統合について

答 まちづくりビジョンを踏まえ、望ましい教育環境を創ります

問 「統合が望ましい」の資料を基に、住民説明会をしたのはなぜか。

答 考える会では、地域懇談会やアンケート調査、先進地視察、校区別の住民説明会等、地域住民との合意形成を図る等そうしたプロセスの積み重ねの上に提言されました。教育委員会として、一方的に統合を進めるものではありません。



統合が検討されている竹田小学校

問 地域との連携、地域と共にある学校はどこへ行ったのか。

答 地域の教育を考える会は、住民一人ひとりが関心と自覚を高め、市島地域全体で新しい学校を核とした特色ある地域活動を展開していくことが重要であると示されており、学校はそこで学び、育った愛着のある地域のシンボルです。子どもたちのよりよい教育環境整備の為、大局的な見地で考えてまいります。



渡辺秀幸議員

引きこもりの方等の支援拡充を

答 子ども・若者サポートセンター運営について拡充を検討します。

問 丹波市子ども・若者サポートセンター（居場所）の利用数が増えるなか、引きこもりの実態把握の考えは。また、関係機関等と連携の取りやすい場所への移設や出張相談の拡充、相談員の増員等の支援拡充は考えられないか。

答 引きこもりの実態把握は難しく、民生・児童委員等から情報を得ながら把握に努めます。建物の老朽化や地理的な面から、居場所移設の検討も視野に入れながら、出張相談の拡充や相談員の増員等、支援の拡充も検討します。



現在の「子ども・若者サポートセンター（居場所）」

問 就労までの準備期間として、ボランティア活動や清掃活動等を取り入れ、段階的な就労支援を。

答 ボランティア活動等には参加していませんが、「居場所」やスポーツ、セミナーなど、利用者の状態に応じ、「コミュニケーション能力の向上等をめざした、計画的・継続的な就労支援を行っています。

地域包括ケアシステムの認識は

答 地域における「究極の支え合い社会の実現」と理解しています

問 地域包括ケアシステム構築において、他部署との連携組織面での体制整備継続性は。

答 地域包括ケアシステムの構築に向けての行政内部の主体は各部署にまたがっていますので、福祉部、健康部、建設部、まちづくり部などの各部署関係課がシステムの構築主体になります。その上で介護保険法の制度上から取組みがはじまっていますので、介護保険課が総合調整を図っていくものと考えています。体制面では、健康センターミルネ内に基幹型地域包括支援センターを配置し、総合

的に相談できる窓口を開設します。継続できるように取り組みます。

問 柏原日赤病院閉院後の平日夜間応急診療室について市民にいていない周知を。

答 平成29年度は1日当たり0.92人と利用実績が減少しており、廃止の方で検討しています。確定次第早急に広報紙やホームページで周知します。



他市との都市機能連携が必要では

答 有効的な活用が見込める分野においては積極的に参加していきます

問 現在の柏原地域・氷上地域（本庁舎）の広域拠点の考え方に春日地域（分庁舎）も含め、巡回型公共交通網を構築し、それにテマンドタクシーが乗り換えてできる市内交通網を考えるとどうでしょうか。

答 都市構造のあり方については、丹波市未来都市創造審議会において審議し「まちづくりビジョン」の中で示してまいります。公共交通システムの充実については、地域の実情に即した輸送サービスを検討します。

問 妙法寺谷川および加古川合流地点の河川整備と災害対策は。また、加古川の「水



完成当時の「水辺の楽校プロジェクト」のワンドの風景

答 妙法寺谷川の排水を阻害するような土砂などの障害物については、治水問題がある判断した場合には土砂撤去を行います。また、加古川を管理されている丹波土木事務所へは、堆積土砂や雑木などの障害物除去を強く要望します。



完成当時の「水辺の楽校プロジェクト」のワンドの風景



須原弥生議員



広田まゆみ議員



吉積 毅議員



西本嘉宏議員

子どもの貧困の実態把握と対策を

答 全体調査の検討と地域福祉計画の改定時に、市の施策を策定します

問 「子どもの貧困」の実態を把握し対策をとる必要はないですか。生活困窮家庭への学習支援や子ども食堂の推進については。

答 子どもの貧困の実態調査が必要かどうか検討します。地域福祉活動計画の改定時に、貧困対策の策定を見直します。学習支援は、生活困窮者支援の観点も含めた支援を、子ども食堂は交流の場として市内に広げる支援をします。

問 学校給食の無償化が全国で広がっていますが全国で広がっていますか。

答 無償や当面一部補助を含め財政的に困難です。



子ども食堂のようす

問 種子法廃止による農業への影響と新たな継続措置の必要は。

答 種子法は、主要農産物の自給と食糧安定保障に多大な貢献をしてきました。県でも「種子生産条例」を制定し種子の安定供給を図っています。今後の状況悪化が予想されれば、国県等に働きかけていきます。

丹波市の現状と未来を共有しよう

答 こどもからおとなまで、わかりやすく数字を出して示したい

問 「丹波市の現状と未来」を、具体的に数字で示し、できる限り全市民と共有できるように取り組んでいただきたいが、いかがですか。

答 今現在の財政状況はどうなのか、これから財政はどうなっていくのかなど、これをどうすれば具体的にわかりやすく、中高生から高齢の方まで8割9割の方に理解していただけるのか、真剣に考えています。秋以降くらいにできればと考えています。

問 お昼寝は15分程度で午後の勉強や、仕事の効率が上がりま



ある小学校でのお昼寝タイム

答 学校では、時間を取るのが難しい面がありますが、お昼寝の方法を、効果と共に関係提供します。市役所では、業務に支障のないところで、取り組みればと考えています。



大西ひろ美議員

学校トイレの洋式化は急務である

答 洋式化の必要性は、十分認識しており、改善に取り組みます。

問 子どもたちは学校トイレの洋式化を強く望んでいます。市内の学校の洋式化率は50%で、各学校で大きな格差がある。至急洋式化をすべきでは。

答 学校の要望に加え災害時の避難拠点となることから、学校トイレの洋式化の必要性は十分認識しています。そのため、本年度に策定する第5次学

トイレの洋式化率が40%以下の学校

北小	22.2%	三輪小	36.4%
大路小	27.3%	中央小	38.1%
船城小	31.4%		
東小	34.0%	和田中	23.3%
西小	34.3%	山南中	33.3%
鴨庄小	34.5%	春日中	34.0%

問 柏原地域エリアマネジメントの分散型ホテル計画が急に発表され、周辺住民から宿泊計画に反対署名が出されています。市長は、強行されるのか。

答 柏原地域の歴史的まち並みを残していく上で有効です。この事業が、地域にもたらす経済効果などを示す中で、反対された方々にもいい説明を行い、ご理解いただけるよう努力していきます。



前川豊市議員

JRラッピング車両の進捗について

答 費用対効果の面から早急に検討してみたいと思います。

問 JR福知山線車両のラッピングについて、市長の前向きな発言の進み具合は。

答 実施には相当の負担が生じるものと考えます。大阪から福知山間をラッピング車両が走ること、PR効果は十分にあり、NHK大河ドラマに関連して相乗りで効果的なラッピングができる機会があるのかなど、費用対効果から早急に検討したいと思っています。

問 結婚相談支援事業のおせっかいマスターや民間（仲人さん）に支援の拡大や見直しが必要ではないですか。



JR 車両福知山線に恐竜ラッピングを !!

答 市民団士の婚活支援の機運を高めたと考えています。

問 丹波竜の説明ガイドの方の高齢化が懸念されている。後継者育成に支援すべきでは。

答 大きな課題と認識しています。市民活動として実施できる体制をつくっていきたいと考えています。

- 全国ろうあ者大会でのアンケート「困っていることは」上位5つ
1. 鉄道の車内アナウンス（公共交通全般）
 2. エレベーターの非常通報ボタン
 3. 緊急時通報ダイヤル「110 番」・「119 番」
 4. 災害時の避難所や町内でのアナウンス
 5. マスクで口の形が見えない

答 31年度当初予算に計上し、早期運用開始をめざし取り組みます。

問 通話により「話す」ことが困難な方が「救急」や「火災」など緊急時の通報としてNET119が有効では。

答 GPS機能の活用により、通報者の居場所が特定でき迅速かつ確実に対応できるなど、聴覚・言語機能に障がいのある方に安全・安心を提供できると考えています。

問 市民が道路の破損等を24時間いつでも通報できるアプリを導入しては。

答 市では道路部局で定期パトロールを行い、市内の道路状況の把握に努めるほか、自治会からの要望や市民からの通報も多く、29年度は900件を超える要望を2人に対応しているのが現状です。アプリを導入することで市民との共助（自治会の日役など）が、道路の軽微な補修や水路の清掃も通報さえすれば対応してもらえる」と「誤解」が生じるため、導入は考えていません。



大嶋恵子議員



小川庄策議員

*一般質問の原稿は、質問した議員が各自作成しています。

新たな子育て支援策は年内に発表予定です！
お楽しみに。

どんな提言が生まれるか、議員の力量も試されるところです。

「どうすれば子育て世帯を支援できるか」
～ 新たな政策提言へ向けて ～
20人で議論をはじめます

第3子以降を対象とした出産祝金支給事業（出生児1人につき20万円）が平成29年度末で廃止されたことを受け、新たな子育て支援策について議論する政策討論会（座長：西脇秀隆議員）を6月からスタートしました。

今後、議会独自で調査・研究を重ね、新しい政策を立案し、市に提言することになります。

丹波市議会としての提言ですので、「全員一致」が原則。今は、所属する会派ごとに意見交換し、どうすれば子育て世帯を支援できるか、さまざまな方策を考えているところです。今後の討論会でその結果を出し合い、議論を交わすことになります。

楽しみにしています



あいさつや自己紹介の仕方など、熱心に手話に取り組む議員。

議員研修会で手話を学びました

自分にできること、コミュニケーションの大切さを学ぶ



手話言語条例の制定を受け、6月26日、手話（実技）と障害者差別解消法についての議員研修会を開催しました。障がい福祉課から、ろう者が日々の生活の中で困ることやくらしの工夫、コミュニケーション手段などについて説明を聞き、手話に挑戦。委員会室にはやさしい空気が流れ、「自分たちには何ができるか」を考えるよい機会となりました。



昔は扇風機のタイマーで、今はスマホのパイプレーター機能で起きるなど、くらしの工夫を手話で伝える ろう者の徳田真紀さん。

『ギカイ・ステーション』で絶賛発信中！

FM805 たんばでは、議員が週替わりで出演し、議会や議員活動についてのトークを繰り広げています。「コモレ丹波の森」特設スタジオでの公開生放送もありますので、お買い物ついでにぜひお立ち寄りください。

【7～9月の放送日】
土曜日
午後3時30分～4時
※再放送は水曜日
午後8時30分～9時



丹波市が抱えるさまざまな課題を調査するため、各常任委員会で先進地を訪問し、視察研修を行いました。「キーマンの存在」が課題解決の共通点と感じます。

香川県 高松市・島根県 雲南市 など 先進地に学ぶ



視察報告

5/8～9 産業建設常任委員会

町家改修、農家民泊のまちづくりと法定外公共物について学ぶ

中学生が生きる力を育む農村生活体験民泊で（滋賀県日野町）

地域にあるものを活かし、農村生活体験の中学生を受け入れる体験農泊事業を平成21年から開始。受入人数は24,000人を超えました。



近江日野田舎体験

ほんものの生業や素朴な田舎体験を通して、自然の素晴らしさと恵みへの感謝、ものを育てる素晴らしさを実感できる農村生活体験民泊。150軒の受入家庭が、家業おまかせプランと協働調理で受け入れています（リピート率7割）。



近江日野田舎体験ホームページ

町家の宿改修プロジェクト（福井県小浜市）



日本遺産の認定を受けている町並みや重要伝統的建造物群保存地区の風景を生かし、エリア・リノベーション計画によって地域活性化を図られています。

予算を抑えつつ古民家を改修する工夫など、丹波市の施策にとって参考にすべき点が多くありました。



里道など法定外公共物の地元整備に補助金を交付（京都府宮津市）

日常的に利用されている農道を市道に認定する場合、利用が少ない市道と交換する方法は丹波市でも参考にされます。



※法定外公共物：道路法や河川法などの法律が適用されるものを法定公共物というのに対し、里道や農業用水路などのように法律が適用されない公共物。

舗装等が必要な農道などは、原材料の支給や機材の貸与により、地域でできることは地域で行う協働の取組みを実施されています。地元整備に対する補助金については、高齢化率に配慮した補助率を適用するなど参考になりました。

5/8～9 民生常任委員会

住み慣れた地域でともに支えあい自分らしく暮らす社会へ（地域包括ケアシステム）



主体は地域住民。高齢者の居場所をつくり孤立を防ぐ（香川県高松市）

居場所の開設にかかる費用を市が助成し、市内244か所で開設。地域住民が主体となって、趣味、ゲーム、カラオケ、合唱などを楽しみ、高齢者の孤立を防いでいます。

居場所づくりとあわせて見守り体制も整備。新聞配達、宅配業者、金融機関、電気・水道検針など76の民間事業者と協定を結び、1万人を超える訪問協力員（2,400店）によるゆるやかな見守りを行っています。また、支援が必要な高齢者には、シルバー人材センター会員や民生委員が見守りや安否確認を行っています。

居場所開設にかかる助成として20万円、運営費も活動回数により2～7万円助成。また、子どもたちとの世代交流には、助成金の加算制度もあります。



公立病院を核にした在宅による寝たきりゼロ作戦（広島県尾道市）

公立病院を核とした保健（予防）・医療・介護・福祉の連携によるケアシステムを構築し、全国的な先行モデルとなっています。

公立みつぎ総合病院では、寝たきりになる原因が家庭における介護力の不足、不適切な介護、リハビリの中断などによる「つくられた寝たきり」にあると考え、昭和49年から訪問看護や訪問リハビリを実施。いち早く「待ち」の医療から「出ていく」医療へ転換されました。

看護やリハビリという医療を家庭の中にもまでもっていく「寝たきりゼロ作戦」で、寝たきり老人数は昭和55年を境に激減。現在までその状態を維持されています。



4/17～18 総務常任委員会

「ウィズあかし」と「雲南市」に学ぶ、市民が主役の地域づくり



今すぐ使える「協働のヒント」などをまとめたノウハウ集

市民みんなでつくる複合型交流拠点「ウィズあかし」の役割（兵庫県明石市）

駅前の商業施設「アスピア明石」の3つのフロアを利用した、生涯学習・男女共同参画・市民活動支援などの機能を併せ持った複合型施設（市職員5名を含む26名のスタッフで運営）。



ウィズあかしHP



丹波市でも、平成31年に「市民プラザ」がオープン予定です。愛称の公募やキーパーソンの育成など、市民を巻き込む仕掛けづくりも大きなヒントになりました。

「子ども・若者・大人チャレンジの連鎖」による持続可能なまちづくり（島根県雲南市）

「課題解決型人材の育成」をめざし、一貫したキャリア教育でふるさとへの愛着心を高めた結果、同市出身の大学生が積極的にまちづくりに関わるなど大きな成果が生まれています。



地域プロデューサー養成講座の卒業生が設立した支援法人「おっち Labo」は、100名を超える卒業生を輩出。彼らが地域づくりの軸となり、起業7件ほか大きな成果を生んでいます（雇用や2.8億円の経済効果など）。また、全国からプロフェッショナルな若者たちがたくさん移住しています。



雲南市ホームページ

市民のチャレンジを支援する仕組みを見える化した雲南市の「生態系図」は大変秀逸であり、ビジョンを図示することの重要性を再認識しました。



食を通じて集
まった仲間と連携し
て、より安心安全な
給食につなげてい
きたいです。

ますます移住者
が増えて地元の人
と、タッグを組んで
さらに元気な町に
なっていければ
と思います。

TAMBARING54

「丹波三宝ベジバーガー」
など丹波名物づくりをめざす
**丹波うまいもん
研究会**

自然を使った丹
波のよさを都会にど
んと発信しても
らって、人口増につ
なげてほしい。

自然豊かな丹
波市ならではの、五
感を通して満たせる
機会、情報を提供
してほしい。



**坂尻里山
つくろう会**
「紙ヒコーキと竹トンボ
で遊ぼう！」

丹波市の ココに期待 しています！

わたしたちも、丹波市に期待しています！



女子高校野球
ともども盛り上
がることを願っ
ています。

7月末には
地元でも試合が開催
されます。地域と
もににぎわいづ
くりを。



**丹波市女子プロ野球
応援隊と地域のみなさん
京都フローラとの交流会にて**

※個人のコメントであり、団体を代表するものではありません。

あとがき

この度の平成30年7月豪雨により被災された皆様へ、心からお見舞いを申し上げます。また、西日本各地でたくさんの方の命が失われ、甚大な被害が発生しております。被災地域の一日も早い復旧復興を心よりお祈り申し上げます。

丹波市でも、前回の記録的豪雨による大災害から4年が経過しましたが、度重なる災害に苦慮されている地域がたくさんあります。丹波市議会としても、安心して暮らしていただける災害に強いまちづくりに向けて、さらに気を引き締めて取り組んでいきたいと思っています。

今回の特集「議会のトリセツ」はいかがでしたか。市民のみなさんからも、いろいろな形でご意見やご要望を議会に届けることができます。ぜひ参考にしてください。ともに元気を丹波市を創っていきましょ。

「発行責任者」
議長 太田喜一郎
「議会報編集委員会」
委員長 小橋 昭彦
委員 大西ひろ美
委員 渡辺 秀幸
委員 大嶋 恵子
委員 西脇 秀隆
委員 田中 まゆみ
委員 西脇 秀隆

発行：兵庫県丹波市議会
編集：議会報編集委員会
〒669-3692 兵庫県丹波市
永上町成松字甲賀1番地
TEL 0795-82-1472
FAX 0795-82-1523
E-mail: gikai@city.tamba.lg.jp